



針尾っ子だより

一人一人が輝く学校をめざして

佐世保市立針尾小学校

No.41 R6.3.15

文責 校長 前川 直樹

旅立ちます！

6年生にとっての小学校生活（6年生の授業日数200日、6年間の授業日数1176日）が、3月18日（月）の卒業証書授与式を残すだけとなり、幕を閉じようとしています。

いよいよ、針尾小学校自慢の14名の子どもたちが旅立つときが来ました。これまで、リーダーとして下級生のことを思い、学校のことを考え、様々なことに取り組んできました。

- 普段から誰にでも優しく接し、下級生から憧れられたお兄さん・お姉さん。
- みんなの安全を気遣った集団登下校。
- 「笑顔であいさつをする学校」を目指して、自主的に取り組んだあいさつ運動。
- みんながよりよい学校生活を送るために、責任をもって頑張った委員会活動。
- 全校の先頭に立って盛り上げた運動会。
- これまでの歴史とこれからの自分を見つめた修学旅行。
- いつもピカピカにしてくれた玄関掃除。
- 心をつなぐ活動した縦割り活動。
- 「明るくあたたかい学校」にするために、全学年とドッジビーをして遊んだこともありました。



学校のため、下級生のため、仲間のために取り組んだ14名は、様々な活動を通して自分自身も磨いてきました。心も体も、大きく前進した一年でした。卒業式では、胸を張り堂々と旅立っていく姿を、私たち教職員一同、温かく見届けたいと思っています。6年生の保護者の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。お子様のご卒業、おめでとうございます。

避けてはならない

宮澤 章二

避けてはならないものが 幾つもある
避けようと思えば 避けることはできる
逃げようと思えば それも できる

けれど ひとたび避けてしまったとき
自分勝手に 逃げてしまったとき
心の中に 大きな穴がぽっかりとあく

その穴は 他人の目には全く見えず
自分だけで落ち込む落とし穴だから
はいだす努力もまた自分一人のものだ

避けたくても決して避けない 勇気
逃げたくても簡単に逃げない 勇気

その人間の勇気を持ち得る者だけが
自分の道を まっすぐに歩いて行ける

「チャレンジしてほしい」「夢を叶えてほしい」と子どもたちに話をしてきました。卒業式（式辞）でも少しお話しさせていただきますが、これから人生を歩んでいく中で、上手いかず、苦しいことや悩むこと、時には逃げ出したいときも来ることでしょう。そんなときに、左の詩を思いだしてほしいと思っています。この先、人生の壁にぶつかっても、勇気をもって果敢に挑戦し、全員が素晴らしい人生の花を咲かせることを心から祈念しています。

第77回卒業生として旅立つ 14名の皆さんに幸多かれ！



左の写真は、在校生一人一人が「どんな卒業式にしたいか」めあてを書いた掲示物です。卒業生に想いは十分伝わっています。どんな気持ちで式に臨むのか、お子様に聞かれてみてください。

裏面へ

また会う日まで

さわやかな 朝の風
春の あしあと
大空を見上げてる
かがやく 瞳

楽しく 過ごした
思い出の 日々よ
手を取り合って
歩いた はるかな道

ぼくはここで 見送る
また会う日まで

あなたの 言葉を
あなたの 笑顔を
あなたの 歌声を
忘れはしない

楽しく 過ごした
思い出の 日々よ
手を取り合って
歩いた はるかな道

わたしはここで 見送る
また会う日まで

ぼくはここで 見送る
また会う日まで

在校生の式歌は、5年生 山田 穂乃佳さんと中町 颯希さんが伴奏します。
卒業生の式歌は、6年生 羽田 望愛さんが伴奏します。
3人のお友達に、大きな拍手を送ります。一素敵な伴奏をありがとうー

旅立ちの日に

白い光りの中に 山なみは萌えて
遙かな空の果てまでも 君は飛び立つ
限りなく青い空に 心ふるわせ
自由を駆ける鳥よ 振り返ることもせず
勇気を翼に込めて 希望の風に乗る
この広い大空に 夢を託して

懐かしい友の声 ふとよみがえる
意味も無いいさかいに 泣いたあの時
心通った嬉しさに 抱き合った日よ
みんな過ぎたけれど 思い出強く抱いて
勇気を翼に込めて 希望の風に乗る
この広い大空に 夢を託して

今 別れの時 飛び立とう

未来信じて

弾む 若い力 信じて

この広い この広い 大空に

今 別れの時 飛び立とう

未来信じて

弾む 若い力 信じて

この広い この広い 大空に

